

母子栄養改善 Improvement of Maternal and Child Nutrition		継続 新機軸・高品質プログラム
対象国の条件 :SUN加盟国、研修実施時までSUNに加盟を表明している国		
研修コース番号 :J1804259		案件番号 :1884440
主分野課題 :保健医療/母子保健・リプロダクティブヘルス		
副分野課題 :		
使用言語 :英語		
案件概要		
本コースでは、SUN参加国の行政官を対象に、自国・担当地域にて母子栄養改善プログラムを計画、実施、管理するために必要な知識と能力を強化することを目指す。具体的には、SUNなど国際的な栄養改善の動向や栄養学の知識、栄養改善に有効な方法・戦略の事例等を講義にて補強した上で、日本の母子保健・地域保健・栄養改善対策の取組み方について視察等を通して学び、所属部署における栄養改善のための取組みを推進する。		
目標/成果	対象組織/人材	
【案件目標】 本コースでは、SUN参加国の行政官を対象に、自国・担当地域にて母子栄養改善プログラムを計画、実施、管理するために必要な知識と能力を強化することを目指す。具体的には、SUNなど国際的な栄養改善の動向や栄養学の知識、栄養改善に有効な方法・戦略の事例等を講義にて補強した上で、日本の母子保健・地域保健・栄養改善対策の取組み方について視察等を通して学び、所属部署における栄養改善のための取組みを推進する。	【対象組織】 SUN参加国の栄養改善対策、母子保健、地域保健に携わる中央・地方政府機関	
【成果】 (1) 国際栄養対策の潮流と枠組み及び栄養学の知識について学び、説明することができる。 (2) 低栄養対策、栄養改善に有効な方法、戦略の事例を学び、自国での母子栄養改善対策に向けた行動計画に反映することができる。 (3) 日本の母子保健、地域保健の経験から、栄養改善対策に資する政策・事業・取組み方を学び、地域保健の中でどのように栄養対策をすすめているか具体的な事例とともに説明できる。 (4) 成果(1)から(3)を踏まえ、研修員が各国において母子栄養改善のための行動計画を策定し、それを実施する能力を形成する。	【対象人材】 (1) 中央もしくは地域レベル母子栄養の政策策定または実施に関わっており、研修を通じた学びを活用しその改善の任に当たれるもの(かつ保健省に所属していることが望ましい) (2) 当該分野で5年以上の経験があること (3) 当該分野における学位保持者 など	
内 容		
【事前活動】 自国の栄養、母子・地域保健の現状や課題、所属組織等に係るインベションレポート作成。	本邦研修期間	2018/7～2018/8
【本邦研修】 以下の内容の講義、視察、議論等を行う。①SUN,WFP,WHO,UNICEFなどの国際的な栄養改善の取組み・JICAの母子保健・栄養分野への支援方針・栄養不良の概論(現状と課題、種類、判定方法、要因と対策)/妊産婦栄養(栄養摂取基準、貧血、栄養モニタリング等)/乳幼児栄養(栄養摂取基準、母乳育児、乳児食、栄養調査)/微量栄養素(微量栄養素・ビタミンA・亜鉛・カルシウム欠乏症、鉄欠乏性貧血とその対策)②食品の保存法と加工法/家庭内食糧安全保障のための女性のエンパワメント/途上国での地域保健・栄養改善の取組み/日本企業による途上国での取組み・日本が開発した栄養改善製品の紹介③日本の栄養改善の歴史/母子保健事業(妊産婦の栄養・母乳・離乳食指導、乳児健診、乳児栄養指導等)/保健所の役割と地域保健事業/栄養改善事業/健康日本21、けんこう帯広21/農村地域における母子栄養④帰国後に研修員が実施する栄養改善に向けた行動計画のドラフト作成・意見交換会	担当課題部	人間開発部
	所管国内機関	JICA北海道(帯広)
	関係省庁	
	実施年度	2017～2019
主要協力機関	公益財団法人 ジョイセフ	
特記事項及びホームページ	SUN : http://scalingupnutrition.org/	